
第二次諏訪大戦～東方風闇光～

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第二次諏訪大戦〜東方風闇光〜

【Nコード】

N41760

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

東方風神録、東方闇鈍神、東方光曝散で登場する神々の争いと和解。原因は、信仰摩擦か、手合わせか？

牟陀は、セルインジー・キリストに言った。

「どこに行くのですか？」

「諏訪だ。ちょっとあちらの神と遊びたくなってな。」

第二次諏訪大戦〜東方風闇光〜

原作 上海アリス弦楽団 台風X号オールスターズ

念死彩楼でもオニガミ様と呼ばれている竜暫が動き出していた。

「さて、幻想郷にでも顔を出しに行くか？」

諏訪子と早苗は、嫌な予感をしていた。

「どうしたんだ？そんな青ざめた表情をして？」

神奈子も少しながら殺気を感じていた。

セルインジー・キリストを目撃したのは、秋穰子だった。

「あれって、セルインジー・キリスト？」

セルインジー・キリストは、スペルカードを取り出した。

「聖十字 美しいグランドクロス」

秋の実りと秋の紅葉を破壊しながら弾幕が襲ってきた。

「あー、私の力が・・・」

鍵山雛は、厄をシールドにして守った。

牟陀は、射命丸と犬走椋と戦っていた。

「仏教魔法 最高の大仏落とし」

射命丸は、大仏の下敷きになった。

「身動きが取れない・・・」

椋は、剣で攻撃をしようとしたが、牟陀のスペルカードに吹き飛ばされた。

「何というパワーなんだ・・・」

二人は、失神していることを牟陀は確認を終えた。

セルインジー・キリストは、秋姉妹を怖がらせた後、雛を悶絶させた。

「ふうー、十字架の怖さを思い知ったか！」

神奈子と諏訪子と早苗は、にとり呼び出して、警戒態勢に入っていた。

「セルインジー・キリストと杵陀には、警戒しないとまずいから。」

しかし、彼女達は知らないすぐ近くにさらなる神がいることを。

セルインジー・キリストと杵陀が襲ってきた。

「きたわ！」

その時、突然別の方向からスペルカードを唱える声があった。

「なに、あっちにもいたの？」

「竜暫か、これは凄く面白い神の闘いになりそうだ。」

神奈子は、竜暫と戦い、にとりと諏訪子は、杵陀と戦い、早苗は、セルインジー・キリストと闘いを始めた。

其々の闘いは神の死闘となった。

竜暫と諏訪子とセルインジー・キリストは、かつて神奈子と諏訪子が争った場所で争っていた。

他のみんなは、気絶していた。

「土着神 宝永四年の赤蛙」

「十字爆 神への冒瀆を許すまじ」

「鬼虹 残酷な最強の高気圧」

三つの弾幕がなんだかの勢いで大爆発した。

そして、闘いが終わった。

「こんな闘いなんて二度とやらないほうがいいかもな。」

竜暫は、第二次諏訪大戦をきっかけに相互の信仰を行うという条約を結ぶことにした。

こうして、第二次諏訪大戦は、終結した。

この東方風闇光で登場するテーマ曲

第二次諏訪大戦勃発！！

アニミズムの神様

神々の大死闘 \ god fight death \

(後書き)

どうでしたか、最後は急展開になってしまったことをお詫び申し上げます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4176o/>

第二次諏訪大戦～東方風闇光～

2010年10月20日21時50分発行